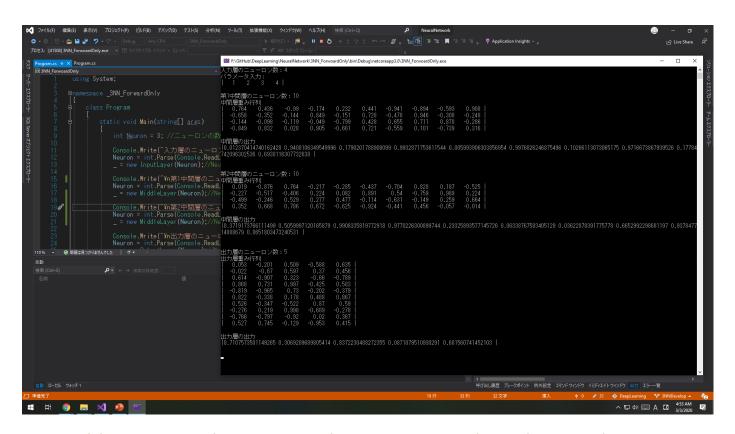


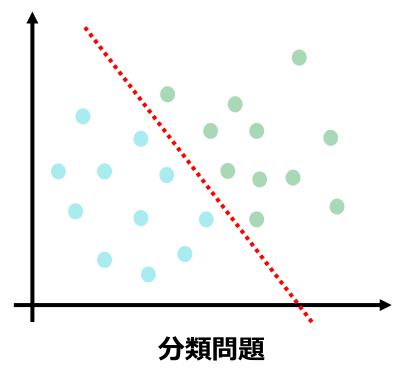
リポジトリ変更のお知らせ

- ニューラルネットワークのソリューションを1つにしました
- 中間層2つ目以降で1つ目より小さい値を入れると発生する問題を修正しました
- NNをプロジェクトごとにわけて管理するようにしました

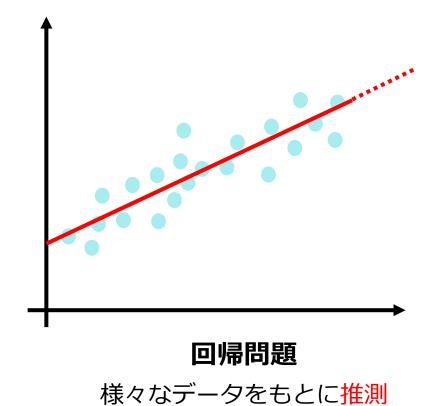


出力層の活性化関数

- 出力層の活性化関数の種類で 分類問題 or 回帰問題 に分かれる
- 回帰問題:恒等関数を用いる
- 分類問題: ソフトマックス関数を用いる

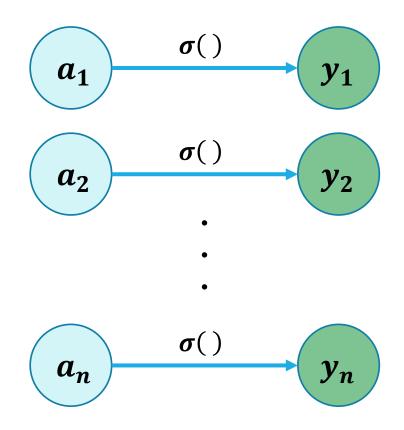


データの散らばりを<mark>分類</mark>



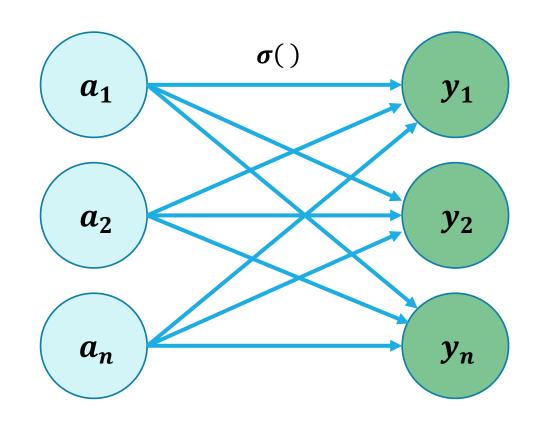
恒等関数

- 入力値をそのまま出力する関数
- 入ってきた値の総和を a, 出力層の活性化関数を $\sigma()$ とする



ソフトマックス関数

- 活性化関数の1つで主に出力層に使用する
- ・ 出力層n個の中から $1つ y_k$ を選ぶ
- 入力値 / 入力値全体の関係 → 入力値によってそれが解である可能性が高くなる



$$y_k = \frac{\exp(a_k)}{\sum_{i=1}^n \exp(a_i)}$$

 a_k : k 番目の入力値

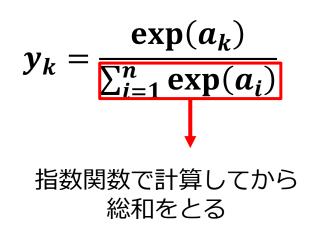
 y_k : k 番目の出力値

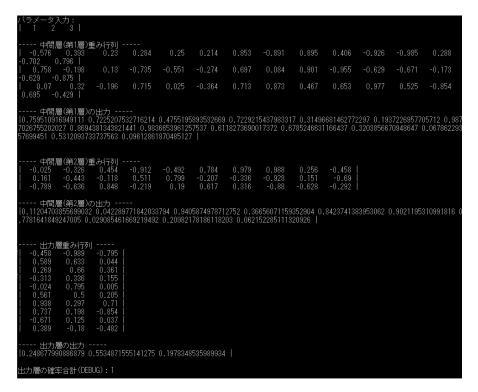
n: 出力層ニューロンの数

 a_i : すべての入力値

ハンズオン #1

- ソフトマックス関数を作って出力層に適用する
- プラットフォームは C# (.NET Core 3.0 コンソールアプリケーション)
- 作成した3層二ユーラルネットワークを再利用(新しく作り直しました)



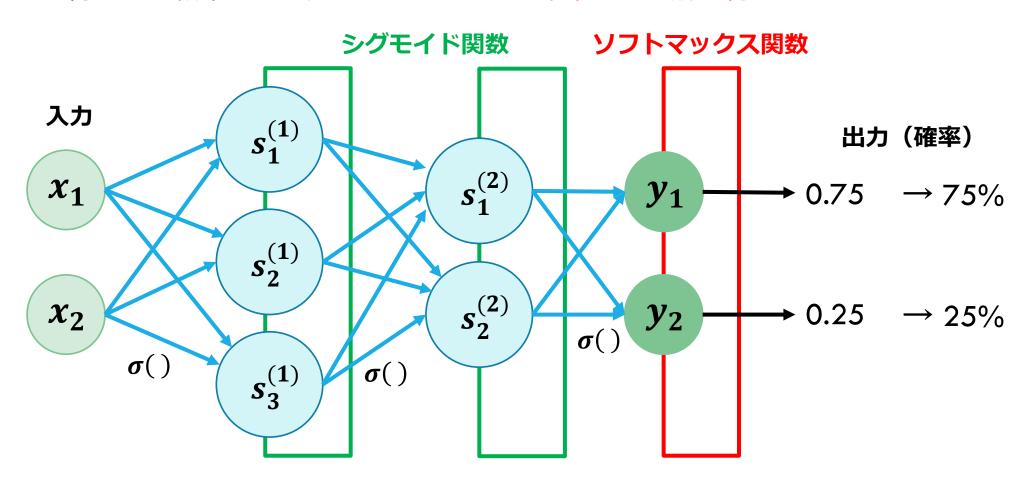


ソフトマックス関数を適用したプログラムはGithubを参考に

https://github.com/takunology/DeepLearning/tree/master/NeuralNetwork

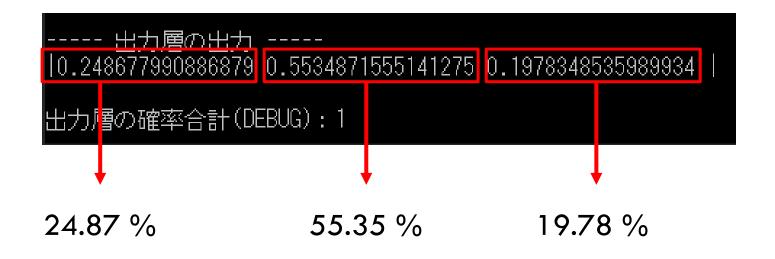
ソフトマックス関数 - 続き

- 作用させると必ず0~1の範囲内で結果が出力される
- 得られた結果を全て足すと 1 になる → 確率として解を得ることができる



出力結果を見てみる

• ソフトマックス関数による出力は確率としてみなせる



確率とすれば全て足すと 1 (100%) になるはず

計算で切り捨てる可能性もあるので 0.99999999... となることもある